

学校行事や教育課程を見直し、働きやすい学校へ！

行事や朝の活動の内容の精選 と取組時間の見直し

- 内容を精選し、分担組織数を減らし多くの担当で協同で運営する。
- 運動会はコロナ前と比べ大幅に種目を減らす。午後の種目は表現のみとする。
- 合唱祭のクラス合唱を1曲のみとする。
- 行事への取組時間を減らす。
- 業者に行事での生徒の様子の撮影や写真販売を委託し、教職員の負担を減らす。
- 年に2回実施していた三者面談を1回にし、もう1回を希望制にした。
- 評価に関する研修を実施した上で、1学期の中間考査の廃止する。
- 朝の活動を見直すことで放課後の時間を確保する。（朝練なし、曜日ごとに読書・学習・タイピング・清掃を設定）



実施までのプロセス

- 企画委員会や職員会議にて行事の内容の見直し・精選等について提案し、目的や意義を含め共通理解を図る。
- 変更するにあたっての課題点や問題点について十分に協議する。
- 集会や保護者会、通知等で生徒や保護者に説明し、理解を得る。

効果

- これまで当たり前のように力を入れて取り組んできた業務を見直すことに最初は抵抗を感じる教職員が多かったが、様々な研修や実際の取組を通して新しい働き方を理解し、時間内でパフォーマンスを発揮しようと努める姿が見られる。時間外勤務時間も減少し、年休の取得の増加も見られた。
- 教職員時間外勤務時間（1人あたり1日）
R4.4～3月：2時間21分 → R5.4～12月：2時間1分
- 教職員年休取得日数（全教職員合計）
R4：251日6時間 → R5：313日7時間